

2023年10月入学 北海道大学大学院理学研究院*

研究生出願要項

北海道大学大学院理学研究院

1. 出願資格

大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者

2. 入学の時期及び研究期間

入学の時期は10月とし、研究期間は原則1年間（2023年10月1日から2024年9月30日）とする。

3. 出願期間

	新規渡日留学生	在日留学生・日本人
インターネット出願期間	2023年6月12日（月）～6月16日（金）	2023年8月16日（水）～8月21日（月）
出願書類提出期限	2023年6月26日（月）	2023年8月24日（木）

※出願には、インターネット出願サイトにおける出願登録と検定料の支払い、および出願書類の郵送が必要。

※窓口受付時間は、土曜・日曜・祝日を除く8:30から17:00までである。

4. 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書・履歴書	インターネット出願後に作成（出力）される書類。 印刷し、写真貼付・自署の上、提出すること。
②最終出身大学の卒業・修了（見込）証明書	ただし、次に該当する者は提出不要 ・研究継続志願者（研究事項が入学当初と同一の者） ・本学大学院理学研究科・理学院・理学部出身者
③承諾書（様式任意）	在職中の者がその身分を失うことなしに志願する場合。
④パスポートの写し	氏名等記載のページ（外国人留学生在が出願する場合のみ）
⑤写真	カラー2枚 （1枚は入学願書に貼付して提出すること。1枚は学生証用として縦3cm×2.5cmを用意すること。ただし、学生証用は電子データでの提出も可。）
⑥検定料	9,800円（別途支払手数料500円が必要） 出願サイト上で支払うこと。

5. 出願手順

①指導を希望する教員に連絡し、受入の内諾を得る。

②本学出願サイト(<https://e-apply.jp/e/hokudai-sci/>)の指示に従い、同サイトから出願する。
インターネット出願にはパスワードが必要となるので、指導予定教員よりパスワードを受領すること。

※インターネット出願には「プリンター」と「メールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可）」が必要なので注意すること。

③同サイト上で検定料の支払いを行う。（国費外国人留学生及び中国政府国家公派研究生項目派遣学生は支払い不要）

④同サイト上で出願手続き完了後、「4. 出願書類等」の①～⑤をPDFにして「3. 出願期間」の「インターネット出願期間」中に「6. 提出先」までメール送信すること。また、メール送信とは別に「4. 出願書類等」を「3. 出願期間」の「出願書類提出期限」までに下記提出先に郵送もしくは持参すること。期日までに書類が到着しなかった場合、同サイト上で出願登録を行っていても出願を受け付けないので、十分注意すること。

6. 提出先

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目（理学部2号館低層棟1階）
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当
メール：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp 電話：011-706-3677

※郵送の場合は必ず追跡可能な手段で郵送すること。また、封筒に「研究生出願書類在中」と朱書きすること。

7. 出願結果の通知

新規渡日留学生	2023年7月6日（木）以降
日本人・在日留学生	2023年9月7日（木）以降

8. 入学（研究継続）許可後の手続き及び必要経費等

入学（研究継続）手続き及び必要経費の詳細については、出願結果通知時に指示する。

	金 額	納付時期
入 学 料	84,600円	入学手続き時（2023年9月中旬予定）
授 業 料	178,200円（半期）	2023年11月中（予定）

<裏面に続く>

9. その他留意事項

- ①既納の検定料，入学料，授業料はいかなる事由があっても還付しない。また，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金が適用される。
- ②提出後の出願書類等の変更は一切認めない。また，書類は返還しない。
- ③次に該当する者は検定料，入学料，授業料の納入は不要。
 - ・研究生の研究継続志願者(研究事項が入学当初と同一の者)
 - ・国費外国人留学生・中国政府国家公派研究生項目派遣学生
- ④すべての書類は日本語又は英語で記入すること。証明書等書類の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。
- ⑤研究期間を継続するときは，研究生出願期間内に研究生継続願（用紙交付）を提出すること。
- ⑥研究期間の途中で退学しようとするときは，その学期の授業料を納付した上で，退学願（用紙交付）を提出すること。
- ⑦その他，出願に関して不明な点がある場合は，「6. 提出先」まで問い合わせること。

* 指導予定教員が理学院連携分野所属の場合に限り、大学院理学院研究生として受け入れることとする。